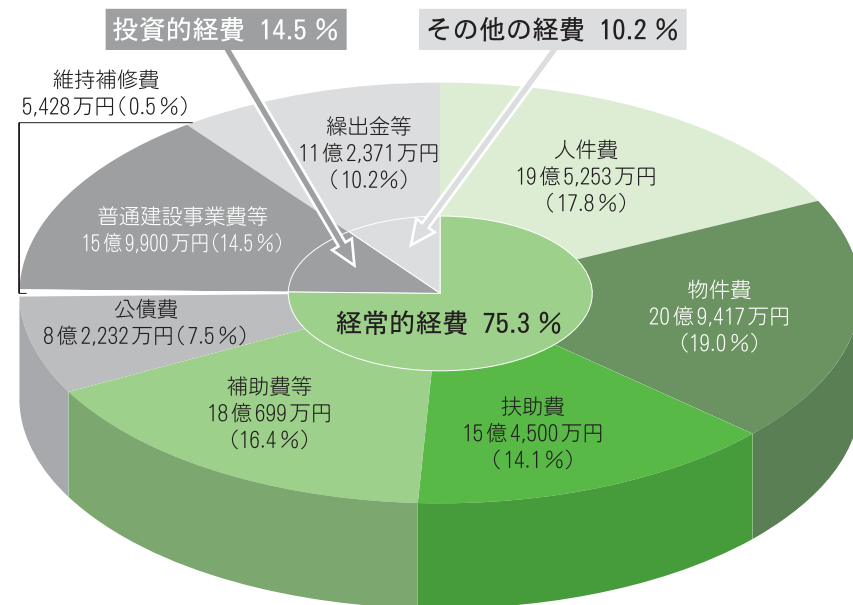


一般会計予算過去最大 養老改元1300年本祭予算決まる

平成29年度当初予算額(単位:万円)

一般会計予算	金額	前年比
一般会計(A)	1,099,800	19,300
特別会計予算	金額	前年比
国民健康保険	444,330	8,780
簡易水道	1,940	50
食肉事業センター	13,640	▲700
住宅新築資金等貸付	1,180	▲250
公共下水道事業	36,380	1,730
農業集落排水事業	3,010	60
介護保険事業	283,500	10,800
介護サービス事業	1,300	150
後期高齢者医療	31,140	1,050
小計(B)	816,420	21,670
企業会計予算	金額	前年比
上水道事業(C)	62,330	▲52,060
総計(A)+(B)+(C)	1,978,550	▲11,090

一般会計歳出



用語説明

経常的経費…毎年度連続して固定的に支出される経費
 投資的経費…支出の効果が長期にわたる経費
 扶助費…生活保護費、児童手当など
 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済
 物件費…賃金、光熱水費、郵便料、電話料、委託料など

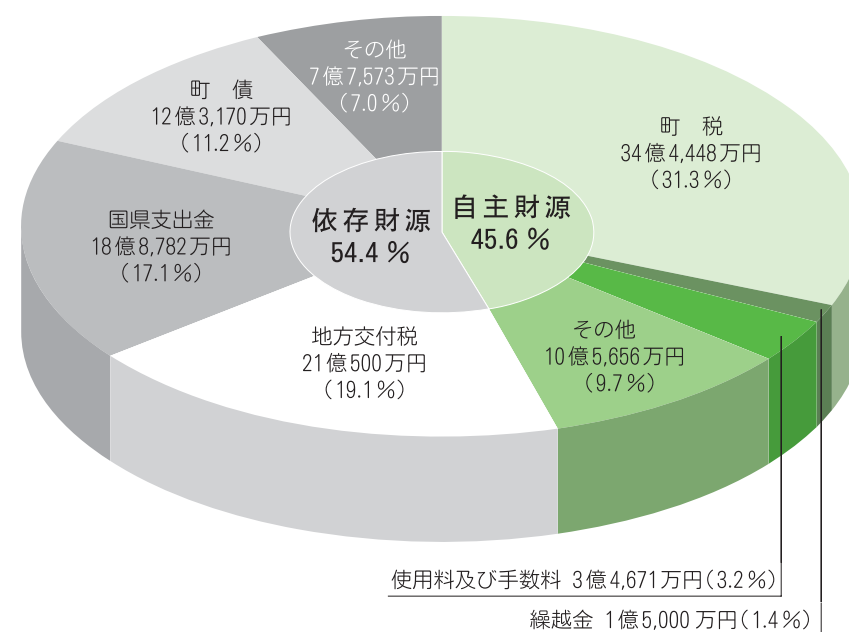
反対討論

財政調整基金等を約6億4700万円切り崩し編成されている。基金は町民のいわば大切な貯金であり、条例や地方財政法に基づく丁寧な説明があるべきである。また、養老認定こども園建設事業費について、平成30年度から事業実施主体へ償還金2分の1補助をすることが納得できない。養老改元1300年祭が始まった今こそ、町民から負託を受けた議会のチェック機能が問われる。

賛成討論

国民健康保険は一般会計からの繰入を極力おさえ、加入者の保険税でまかなうのが本来の在り方であり、医療費の増加による保険税の値上げはやむを得ないと考えるが、収納率の向上には努めていきたい。

一般会計歳入



用語説明

自主財源…町が自主的に収入できるお金
 依存財源…国や県から交付されるお金など
 町税…町民税や固定資産税など
 国県支出金…特定する事業の財源として、国や県からもらえるお金
 町債…国や金融機関から借りるお金

町長の認識は。

町財政調整基金条例に13億円に達するまで毎年度500万円以上積み立てるとあるのは、13億円以上を堅持することが健全財政化や町民の安心安全を確保するために必要不可欠であるためと認識しているが町長の認識は。

問

前年度実績と平成29年度の国の地方財政計画に基づき算出をしている。また平成27年国勢調査で人口が減少したことに伴い減額になる可能性があり、地方財政計画では2・2%減だが本町では4%減で見積もっている。

問

町財政調整基金条例に13億円に達するまで毎年度500万円以上積み立てるとあるのは、13億円以上を堅持することが健全財政化や町民の安心安全を確保するために必要不可欠であるためと認識しているが町長の認識は。

本会議での 主な質疑 及び討論

問

財政調整基金を切り崩した分の今後の対応は。

答

毎年の財政状況を踏まえて今後13億円を堅持するよう努めていきたい。

問

厳しい財政状況で13億円を堅持するのが難しい状況である認識をいただきたい。

3月定例会

平成29年第1回定例会が、3月6日から21日までの16日間の会期で行われました。初日(6日)は、町長から新年度の施政方針が示され、平成28年度一般会計補正予算に関する2議案の専決処分を承認しました。また、全33議案の提案説明を受け、総括質疑を行った後、予算特別委員会の選任と、15議案の審査を委員会へ付託することに決定しました。また、18議案を各常任委員会に付託しました。

2日目(17日)は、5議員が一般質問を行いました。また、その様子をケーブルテレビにより収録しました。最終日(21日)は、各常任委員会委員長及び予算特別委員会委員長から審査報告があり、平成29年度一般会計予算を含む、全33議案を原案のとおり可決しました。また、町営住宅の管理に関する和解についての専決処分の報告を受けました。